

令和6年度
閱 覧 設 計 書

工 事 名	阿久根漁港水産流通基盤(一般)整備工事(R6-1工区)
工 事 箇 所	阿久根市 晴海町地内
漁 港 名	阿久根漁港
工 期	235日間

【 閱 覧 設 計 書 内 訳 】

内 訳	添付の有無
特記仕様書	○
図面	○
設計内訳(金抜) ※	○

※は参考資料である。

◎本閲覧における問合せについては担当課までお願いします。

担 当 課	河川港湾課 港湾漁港係
-------	-------------

【留意事項】

従来の「閲覧設計図」の名称を廃止し、「実施設計図」を閲覧設計書に添付しています。

○鹿児島県 土木部

照合確認	電子閲覧
------	------



特記仕様書

工事名：阿久根漁港水産流通基盤（一般）整備工事（R6-1工区）

漁港名：阿久根漁港

工事場所：阿久根市 晴海町地内

工期：235日間

第1条 準拠図書

本工事は本特記仕様書，契約書，設計図書によることとし，特に定めのない事項については，下記のとおりによるものである。

- (1) 土木工事共通仕様書 (鹿児島県土木部・令和6年4月)
- (2) 土木工事施工管理基準 (鹿児島県土木部・令和4年1月)
- (3) 土木請負工事必携 (鹿児島県土木部・平成28年4月)
- (4) 工事関係書類の様式の統一化 (鹿児島県土木部長通知)
- (5) 港湾工事共通仕様書 (国土交通省港湾局(国HP)・令和5年3月)

なお，これらに記載されていない事項で疑義が生じた場合は，監督職員と協議し，かつその指示に従うこと。

第2条 施工条件明示

次の施工条件明示によるものとする。

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
基本事項	概算数量発注	・概算数量発注方式により積算・工期設定 設計金額2,500万円未満 標準工期+15日付与 設計金額2,500万円以上 標準工期+30日付与	共通仕様書 11-7-1-14	11-73	—
					—
					—
	契約保証金	・契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分1以上の金銭的保証を要す。	契約書 第4条	—	○
	前払金	・前払金を40%の範囲内で支払うことができる。	契約書 第35条	—	○
		・本工事(ゼロ県債)事業については、令和〇年4月〇〇日以降に請求することができる。 ・中間前払金を請求することができる。			○
	部分払い	・部分払いの請求は2回以内で、前金払がある場合でも2回とする。ただし、中間前払金があるときは、部分払いは行わない。	契約書 第38条	—	○
	契約工期	・契約工期は、235日間	共通仕様書 11-7-1-21	11-77	○
		・翌年度への繰越予定(〇〇日延長予定)⇒令和〇年〇〇月〇〇日予定			=
	余裕期間	・余裕期間設定契制度の対象工事 〇〇日、〇月〇日まで	共通仕様書 11-7-1-30	11-82	—
	週休2日（試行）	・「週休2日」試行工事 ※当工事においては、『「週休2日」試行工事実施要領（港湾・漁港事業編）』を適用している	共通仕様書 11-7-2-9	11-86	○
	請負代金内訳書及び工事費構成書	・請負金額1億円以上かつ工期が6ヶ月を超える工事	共通仕様書 3-1-1-1	3-1	○
	品質証明	・予定価格1億円以上で対象工事	共通仕様書 3-1-1-6	3-5	—
	監理技術者等の途中交代	・技術者の途中交代	共通仕様書 11-7-1-3	11-69	○
	監理技術者等の専任を要しない期間	・請負金額4,000万円以上の工事	共通仕様書 11-7-1-4	11-70	○
	現場代理人常駐	・現場代理人の常駐を要しない場合の明確化	共通仕様書 11-7-1-5	11-70	○
	現場代理人兼任（試行）	・現場代理人の兼任に関する運用の試行 兼任可能3件、80,000千円未満など	共通仕様書 11-7-1-19	11-74	—
	特例管理技術者の配置	・下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認めない工事	共通仕様書 11-7-1-18	11-74	—
		・下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認める工事			○
	中間検査	・本工事は、中間検査を実施する工事（原則3,000万円以上）	共通仕様書 3-1-1-8	3-5	○
・本工事は、中間検査を実施しない工事（浚渫、寄洲除去など）		11-7-1-17	11-73	—	
施工体制台帳	・施工体制台帳及び施工体系図等の取り扱い	共通仕様書 1-1-1-10	1-8	○	
施工体系図		11-7-1-9,10	11-71		
法定外の労災保険付与	・「土木工事標準積算基準書」を適用する全ての工事	共通仕様書 1-1-1-42	1-31	○	
熱中症対策	・熱中症対策に資する現場管理費の補正対象工事	共通仕様書 11-7-1-13	11-73	○	
時間的制約を受ける工事	・時間的制約を受ける公共土木工事の積算	共通仕様書 11-7-1-15	11-73	○	
	①工事全体で制約			○	
	②潮待ち作業の工種で制約（上部工：鉄筋・コンクリート打設） ③積算しない			○	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
工程関係	施工箇所所在	・施工箇所が点在する工事の積算方法 「〇〇地区、〇〇地区、〇〇地区」 一般管理費等の算出率は「〇〇地区」で設定	共通仕様書 11-7-1-24	11-78	—
	現場環境改善 (イメージアップ)	・現場環境改善の適用工事	共通仕様書 11-7-1-20	11-75	○
	CCUS	・建設キャリアアップシステム活用工事	共通仕様書 11-7-1-11	11-72	○
	排出ガス対策型 第3次基準値	・排ガス3次基準以上の建設機械の確保が困難と想定される場合 〇〇(工種名)(S〇〇〇〇)における〇〇(建設機械名)の機械損料(損料)の第〇次基準値の建設機械	共通仕様書 11-7-2-11	11-86	—
		・排ガス3次基準以上の建設機械の確保が可能または可否の判断ができない場合 〇〇(工種名)(S〇〇〇〇)における〇〇(建設機械名)の機械損料(損料)の第〇次基準値の建設機械			—
	地域外労働者確保	・地域外からの労働者確保に要する設計変更の試行について 三島村(全域), 十島村(全域), 口永良部島, 加計呂麻島, 与路島, 請島の工事	共通仕様書 11-7-1-31	11-82	—
	国土調査の基準点	・国土調査の基準点等測量標識等の保全	共通仕様書 11-7-2-1	11-83	○
	電子納品	・電子納品ガイドライン対象工事	共通仕様書 11-7-1-1	11-69	○
	県産資材の優先使用	・県産資材の優先使用	共通仕様書 11-7-1-7	11-70	○
	下請工事管内優先活用	・下請工事における管内(県内)建設業者の優先活用	共通仕様書 11-7-1-8	11-71	○
	快適トイレ	・建設現場における「快適トイレ」設置試行対象工事	共通仕様書 11-7-1-12	11-72	○
	三者技術調整会	・本工事は, 三者技術調整会を開催する工事	共通仕様書 11-7-1-23	11-77	—
		・本工事は, 三者技術調整会を開催を予定していない工事			○
危機事象時緊急連絡先	・土木工事等において危機事象が発生した場合の対応 地域振興局名: 北陸地域振興局建設部河川港湾課 緊急連絡先: 0996-25-5652	特記事項	—	○	
暴力団不当介入	・暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置	共通仕様書 11-7-1-2	11-69	○	
環境改善 (工事編)	・「環境改善実施要領(工事編)」により, 工事現場の環境改善に取り組まなければならない。	共通仕様書 1-1-1-45	11-31	○	
河川区域制約	・令和〇年〇月〇日までは, 出水期であるため着手できない。	特記事項	—	—	
占用物件など	・令和〇年〇月〇日までに, N T T 電柱移設が完了予定である。	特記事項	—	—	
部分引き渡し	・令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇部分を引渡しを行う。	特記事項	—	—	
作業不能日数	・本工事の工期は, 波浪等により作業不能日数を〇〇日見込む。	特記事項	—	—	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項		明示内容			出典	頁	該当項目
	他工区との調整	・先行している工事の工期は、令和〇年12月〇〇日完成を予定しており、着手は、令和〇年1月〇日から着手となる。			特記事項	-	-
用地関係	補償物件	・一部の用地については、現在移転中であり、令和〇年〇〇月までに移転完了予定である。			特記事項	-	-
	工作物	・No.〇〇～No.〇〇までの区間は、農作物の収穫が終わる令和〇年〇月〇日頃まで着工してはならない。			特記事項	-	-
	仮設ヤード	・本工事におけるケーソンの製作に当たっては、仮設ヤードとして下記を考慮。諸条件により難しい場合は、別途協議する。 (1) 場 所： (2) 期 間： (3) 復旧条件：			特記事項	-	-
公害関係	公害防止	・本工事の仮締切りの鋼矢板の施工については、油圧式高周波型パイプロハンマによる打込み、電動式パイプロハンマによる引抜きを計画している。なお、現地の状況（土質、地質、周辺環境等）により、これによりがたい場合は、別途監督職員と協議するものとする。			特記事項	-	-
	水替・流入防止対策	・本工事における〇〇工については、〇〇による水替を〇〇日間（常時）を計画しているが、これによりが難しい場合は、別途協議する。			特記事項	-	-
工事関係	I C T 活用工事	・発注者指定型（土工）10,000m3以上			試行要領	-	-
		・受注者希望型（土工）					-
		・受注者希望型（作業土工（床掘））					-
		・受注者希望型（土工（1,000m3未満））					-
		・受注者希望型（小規模土工）					-
		・受注者希望型（法面工）					-
		・受注者希望型（舗装工）					-
		・受注者希望型（舗装工（修繕工））					-
		・受注者希望型（付帯構造物設置工）					-
		・受注者希望型（地盤改良工）					-
		・受注者希望型（河川浚渫工）					-
		・受注者希望型（構造物工（橋台・橋脚））					-
		・受注者希望型（構造物工（橋梁上部））					-
		・受注者希望型（基礎工）					-
		・受注者希望型（擁壁工）					-
コンクリート工	・コンクリートは、JISA5308に規定するレディーミクストコンクリートとし、品質については、下記のとおりとする。			特記事項	-	○	
	呼び強度	スランプ	空気量				粗骨材最大粒径
	別紙、第3条その他に記載						
	使用工種	水セメント比	セメントの種類				その他
別紙、第3条その他に記載							
スランプ	・鉄筋コンクリート構造物等のスランプ値について 別紙、第3条その他に記載			共通仕様書 11-7-2-10	11-86	○	
シラスコンクリート2次製品	・シラスコンクリート間知ブロック、・シラスコンクリート大型積ブロック、・シラスコンクリート歩車道境界ブロック（B型）、・シラスコンクリート落蓋U型溝及び蓋版（縦断用）、・シラスコンクリート落蓋U型溝（横断用）、・シラスブロック（平板型）・（地域自然石型）、・かぶせ蓋式U型側溝及び蓋版（道路用・水路用）			共通仕様書 11-7-2-6	11-85	-	
交通誘導警備員	・現道工事等における交通誘導警備員の資格要件の条件明示			共通仕様書 11-7-1-22	11-77	-	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容			出典	頁	該当項目
工事用道路関係	・盛土材の運搬経路は、土取場⇒主要県道 ○○○線⇒市道○○線⇒現場とし、他の経路は通行してはならない。			特記事項	-	-
	・○道○○号は、○○市との協議の結果、○○t以上の工事車両は通行してはならない。			特記事項	-	-
	・本工事施工に伴う工事車両進入路のうち、粉じん防止のため1日○○回程度の散水を行うとともに、路面維持に努めること。			特記事項	-	-
	仮設道路関係			特記事項	-	-
	工事標示施設			特記事項	-	-
	仮設備関係			共通仕様書 11-7-1-29	11-81	-
	仮設備関係					-
	ヤンバルトサカヤステ			共通仕様書 11-7-2-3	11-84	○
	過積載防止			共通仕様書 11-7-2-2	11-83	○
遠隔臨場（試行）			共通仕様書 11-7-1-16	11-73	○	
鳥インフルエンザ			共通仕様書 11-7-2-7	11-85	○	
建設副産物	建設発生土の処理			共通仕様書 11-7-1-26	11-80	○
	建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 受入れ場所：阿久根市山下地内 処分場名：(有)尾崎技研処分場 運搬距離：2.4 km その他：					
	建設リサイクル法			共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	①分別解体等の方法					
	①仮設			共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	②土工					
	③基礎工事					
④本体構造						
⑤本体付属物						
※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は、記載の必要はない。			鹿児島県における再生資材活用工事実施要領（土木）の運用			
②再資源化等をする施設の名称及び所在地			特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	
			コンクリート殻	(株)西園機動建設	出水市野田町下名	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容				出典	頁	該当項目	
	資材名	規格	備考 (使用箇所)					
再生資源の利用					共通仕様書 11-7-1-25	11-78	—	
建設発生土の利用	・〇〇に使用する土は〇〇工事の建設発生土を利用するものとする。				共通仕様書 11-7-1-26	11-80	—	
建設副産物の搬出	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○	
①指定副産物	コンクリート	(株)西園機動建設	出水市野田町	9.1 k m				
	アスファルト							
	木くず							
②一般廃棄物	刈草・選定枝葉							
建設汚泥の再生利用	中間処理の場所	中間処理の方法	再生品の品質	利用用途	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	—	
①処理概要								
②「建設汚泥処理土の品質区分基準」	品質区分基準	指標等		試験回数	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/	
	品質基準	コーン指数						
	生活環境保全上の基準	土壌環境基準（環境基本法）						
		特定有害物質の含有量基準（土壌汚染対策法）						
建設汚泥の搬出	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/	
①施設の名称及び所在地								
②受入時間	〇〇処分場：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分 エコパークかごしま：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分							
③その他 仮置き等必要条件								
舗装切断作業時に発生する排水の処理	舗装切断作業時に発生する排水の処理について				共通仕様書 11-7-1-28	11-81	○	
根株、伐採木等の利用	保管場所：〇〇市〇〇町〇〇地内				共通仕様書 11-7-1-27	11-81	—	
発生工事								
利用工事	・〇〇市〇〇町〇〇地内に保管している、根株・伐採木を法面工の基盤材として、発注者から引き受けることとする。						—	
その他	関係機関との協議	・本工事における、下記工種については、〇〇などの岸壁の利用に関しては、着手前に工事内容等を利用者へ周知すること。			共通仕様書 1-1-1-37 11-7-2-5	1-28 11-85	—	
	施工体制点業務への協力	・本工事の施工体制点検業務を委託している「施工体制調査員」が工事現場に点検を実施する。			共通仕様書 11-7-2-4	11-85	—	
	路上工事の縮減	・路上工事縮減に関する行動計画				特記事項	—	—
		①お盆						—
		②年末年始						—
③交通への影響が大きい期間（祭り、イベント等）						—		
漁協権者との調整	・工事着手前に、漁業権者と工法、施工時期、水質汚濁防止の方法等について協議し、工事の理解と協力を得ること。			特記事項	—	○		

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項		明示内容				出典	頁	該当項目
工事現場発生品		・在来施設の撤去により生じた現場発生品は、当該工事に使用するものとし、残量については、下記の場所まで運搬のうえ引渡すものとする。				共通仕様書 1-1-1-18	1-12	—
		現場発生品名		引渡場所				
支給材料及び貸与品		・本工事における支給品は、下記のとおりとする。				共通仕様書 1-1-1-17	1-11	—
		支給品名	規格	数量・単位	支給場所			
部分使用		<p>・本工事については、工事引き渡し前に工事請負契約書第33条により下記について部分使用する場合があります。その際は、受注者の承諾を得るものとする。</p> <p>(1) 部分使用範囲：別添図のとおり</p> <p>(2) 目的：</p> <p>(3) 部分使用期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日</p>				契約書 第34条	—	—

第3条 その他

1 船舶の回航費の積算について

1) クレーン付台船(45~50t)の回航費(又は「えい航費」以下同様)は、川内港を基地港として往復の費用を計上している。

2) 契約後、必要となる船舶の在港が確認できない場合は、当該港への入出港が川内港と異なることを書面等により確認し、甲乙協議のうえ、受注者の責によらず必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

なお、回航(又は「えい航」以下同様)に伴う確認請求は、原則として契約後最初に行う施工計画書の立案時に行うこと。

また、在港中の船舶を使用するなど、回航が不要となった場合は、回航費を減額する。

2 潜水技士及び海上起重作業管理技士

潜水技士及び海上起重作業管理技士の適正な配置の徹底

請負者は、本工事の安全、的確、円滑な施工を確保するため、下記の配置要領に基づき、潜水技士及び海上起重作業管理技士の配置を適正に行うこと。

1) 港湾工事等潜水作業従事者配置要領

2) 港湾工事等海上起重作業船団長配置要領交通誘導員については、公安委員会からの指導または現場施工上、誘導員の配置が必要と認められる場合、契約変更の対象とできる。

3 施工環境監理者の配置

1 本工事には、施工環境監理者を配置することとする。

2 施工環境監理者の資格については、次のいずれかを有する者とする。

1) 技術士若しくは技術士補のうち水産部門(水産土木)の資格を有する者

2) 社団法人大日本水産会の行う水産工学技士(水産土木部門)認定試験に合格し、水産工学技士として登録した者

3 施工計画書で記載する業務内容については、以下を基本とする。

① 周辺海域の自然環境に対する検討

請負者は、発注者が示す資料等や漁業者等のヒアリングにより、工事場所周辺における自然環境や動植物の生息環境の把握に努め、作業時期や作業方法等について、具体的な環境対策を記載すること。

② 環境改善等の技術的提案

必要に応じて、藻場の拡大や生物環境の改善に繋がる可能性を有する技術的提案を行うこと。

4 施工環境監理者は、海上作業の環境対策に係る指導を行うこと。

5 施工環境監理者は、周辺海域への環境影響が予知され又は発生した場合、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員の指示があればそれに従うこと。

6 施工環境監理者は専任とするが、密接な関係にある2件以上の工事を同一又は

近接した場所で施工する場合は、兼任できるものとする。

7 施工環境監理者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人と兼務できるものとする。

8 実施体制の表示については、施工計画書の現場組織表に施工環境監理者の氏名を記載するとともに、水産工学技士の有資格者は、技術者の資格者表に登録番号を記載することとする。

－記載参考例①－

現場組織表	
○現場代理人 (氏名)	測量係 (氏名)
主任技術者 (氏名)	出来形管理係 (氏名)
監理技術者 (氏名)	品質管理係 (氏名)
<u>施工環境監理者</u> (氏名)	工程管理係 (氏名)
	資材係 (氏名)
	労務係 (氏名)
	重機係 (氏名)
	安全管理係 (氏名)
	事務係 (氏名)
緊急時連絡先	昼 Tel 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (氏名)
	夜 Tel 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (氏名)

注) 1 現場常駐者は○印をつける。
2 自主的施工の場合は施工管理技術者を記入のこと。
3 その他必要な「係」があれば追加する。
4 現場事務所に掲載すること。

－記載参考例②－

現場代理人・主任技術者・監理技術者・施工環境監理者などの資格者表				
氏名	職名	経験年数	資格種別及び合格番号	備考
	現場代理人	年	1級土木施工管理技士 ()	
	主任技術者	年	1級土木施工管理技士 ()	
	監理技術者	年	1級土木施工管理技士 ()	監理技術者資格 (第)
	<u>施工環境監理者</u>	年	水産工学技士 ()	

9 資格証明書等の携行について、施工環境監理者は工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社及び社印の入った名札を着用することとする。

－記載参考例③－ 名札 (監理技術者と兼務する場合)

監理(主任)技術者 [施工環境監理者]	
氏名	〇〇 〇〇
工事名	〇〇工事
工期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日
会社	◇◇建設株式会社
写真 2cm×3cm 程度	印

4 コンクリート構造物の品質確保

1) コンクリート

本工事に使用するコンクリートは、原則として JIS マーク表示認証工場を選定する。なお、JIS マーク表示認証工場のない地域は、配合報告書を提出するとともに、監督職員の立会の下、試験練りの結果により承諾を得ること。

2) コンクリートの種類及び品質

コンクリートは、JISA5308 に規定するレディーミクストコンクリートとし、品質については次表のとおりとする。

コンクリートの種類	呼び強度	荷下し地点 スランプ	粗骨材の 最大寸法	セメント の種類	荷下し 地点 空気量	水セメント比	備考
上部コンクリート	$\delta 28 \text{ N/mm}^2$ 24	cm 12	mm 20	高炉B	% 4.5 (± 1.5)	% 65 以下	
埋戻しコンクリート 他	18	8	40	高炉B	4.5	65	

※1 レディーミクストコンクリート工場は、原則として JIS マーク表示許可工場を選定する。

また、コンクリートの圧縮強度試験、材令28日強度については、北薩地域振興局建設部管外のコンクリート工場の場合、基本的に公的機関で行うこと。

試験練等の立会確認が必要となった場合は、監督職員が立ち会うこととする。

※2 コンクリートは、JISA5308 に規定するレディーミクストコンクリート（普通コンクリート）とし、品質については上述のとおりとする。

※3 コンクリート供試体製作時（打設毎全本数）に下記名札を型枠にセットし、圧縮強度試験時に目視及び写真確認出来るように貼り付けること。

工事名	阿久根漁港水産流通基盤（一般）整備工事（R6-1工区）
工種	〇〇〇
種別	高炉セメント(B) (〇N/mm ² -〇cm-〇mm)
打設年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
現場代理人	〇〇 〇〇
監督職員名	〇〇 〇〇

2) コンクリートの脱枠強度は下記のとおりとする。

種類	脱枠強度	転置強度	備考
上部コンクリート	3.5 N/mm^2 以上	$\text{—} \text{ N/mm}^2$ 以上	上部工 上部コンクリート

5 工事現場の現場環境改善

- 1) 工事現場の現場環境改善は、周辺環境の美装化や現場事務所および作業環境等の改善を行い、快適な職場を形成するために実施するものである。請負者はこの趣旨を理解し、発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施すること。
- 2) 現場環境改善については、別表－1の中から概ね5つの内容を選択し実施するものとする。
- 3) 現場環境改善においては、木製資材の積極的な使用に努めること。
- 4) 現場環境改善の具体的な実施内容及び実施時期について、施工計画書へ記載し提出すること。
- 5) 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出すること。
- 6) 工期設定に関しては、現場環境改善の準備に必要な期間を考慮すること。

[別表－1]

計上費目	実施する内容
仮設備関係	仮設備の設置、美装化に要する費用 1. 垂れ幕（横断幕）、 2. 工事看板（説明板・案内板・PR看板）、 3. 緑化・花壇（椅子・ベンチ含む）、 4. ライトアップ
安全関係	安全器具の美装化、清掃に要する費用 1. 器具美装化（バリケード、転落防止柵（足場・安全ネット）、 2. 工事標識、 3. 安全標識照明、 4. 安全器機（カラーコーン・回転灯）、 5. 安全具（救命胴衣・安全浮環・ヘルメット・安全靴・安全帯・消火器））、 6. 清掃費、熱中症対策、防寒対策
役務関係	イメージアップに係る土地借上げおよび道路等の占有に要する費用
営繕関係	現場施設の美装化、行事等の開催に要する費用 1. 施設美装化（現場事務所・現場休憩所・作業員宿舎）、 2. インフォメーション施設の設置および管理運営、 3. 行事の開催
防災・危機管理関係	防災訓練に要する費用 1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）に使用する作業船・重機の燃料費、

	2. 回航えい航費・運搬費, 3. 資機材の費用
担い手育成関係	現場見学, インターンシップ, 出張講座等に要する費用 1. 現場見学会の開催・見学用設備, 2. パンフレット・工法説明ビデオ, 3. 出張講座の資料作成

[別表－2]

現場環境改善実施内容に関する名称	損耗率
緑化・花壇, パンフレット・工法説明ビデオ, その他 (完成予想図, 法説明図, 工事工程表など他の工事に転用できない物)	100% (箇所)
デザイン工事看板	10% (／月)
ライトアップ施設	8% (／月)
電光式標識	4% (／月)
備品類	2% (／月)

- (注) 1. 上表は工事場所, 工事時期及び使用条件を考慮して割増しすることができる。
2. 類似品は, 上表損耗率を準用できる。
3. 一工事において, 損耗率が100%を越える場合は, 上限値は100%とする。
4. 設置月数は, 工程から求めるものとし, 0.5ヶ月単位 (2捨3入) とする。
 ただし, 15日未満は0.5ヶ月とする。

(参考)

現場環境改善実施計画書

令和〇〇年度 〇〇〇〇工事 (〇〇工区)

項目	現場改善を含んだ額 A	共通仮設費 計上額 B	差額 C	損耗率 D	数量 N	月数 M	金額
仮設備関係							
購入品	A	B	A-B	D	N	M	$C * D * N * M$
リース品	A	B	A-B	—	N	M	$C * N * M$
安全関係							
役務関係							
営繕関係							
防災・危機管理関係							
担い手育成関係							
合計							